

# 中学生まちづくり作文 表彰作品

市内中学生から「地域やまちづくりについて思うこと」をテーマにまちづくり作文の募集を行い、182作品の応募がありました。その中から、優秀作品として表彰された3作品を紹介します。

## 【中学2年生の部】

### 町の活性化

梶田中学校 2年 永谷 瑠麗さん

今、僕達の町は少子高齢化になりつつある。しかし、若い世代がこの町を良くしようと積極的に動いているのは確かだが、何か物足りないと思う。それは、実行者、参加者ももう少し感じていることだと思う。誰もが楽しみ、誰もが専ら行事、もちろん実行者はその行事に町全員の人が集まって欲しいと思う気持ちはある。しかし、全員集まれないのも確かだ。おそらくそれは毎年の課題になっている。

では、どうしたら人が集まるのか、どうしたら全員が楽しくでき、全員が喜ぶことができるのか。まずは、若い人が軸になって動くことが重要である。そして更に若い人を入れて、実行者を増やし、まず家族から、まず家族からと参加者を広めていき、

人数を集めたら良いと思う。今ときの若い人は、「く君が行くんだったら俺も行こうかなあ」と言う人が少なからずいると思う。それと同様に、お年寄りの人にも伝え、「くくんも行くんなら、私も行こうかのおく」と伝える、そして安心感を持ちながら行けたほうが楽しいし、一人であるより絶対に良いと思う。最近では、高齢者が一人切りになり、亡くなってしまうというような信じがたいようなことが起きている。だから、たまには、古くからの友人に久しぶりに会って、仲良く談笑し合っではしい。人は笑うだけで長く生きられるということを聞いたことがあるので、たまにはそのような一時もあって良いと思う。そしてこの町全体が明るくなるだけでなく、もちろん隔たりなく話すことは大切だが、それ以上に、人とのコミュニケーションを増やしていきたい。

このことを広まえて、町全体が良くなるには、まず自分から何かできないか考え行動し、それを周りに発信していくことができれば、町の活性化につながると思うから、これからも研究していきたい。

## 【中学2年生の部】

### 身近なまちづくり

梶田中学校 2年 日髙くるみさん

まちづくりは、意外に私のすぐそばにあると思う。「まちづくり」と言うと、私は大掛かりな事を想像してしまう。でも、少し考え方を変えろと自分が今すぐに始められる「まちづくり」がある。

私が一番簡単に、すぐに始めることができまちづくりはあいさつだと思つ。これはまちづくりだけでなく、普段の生活にも大切だ。例えば学校の教室の中で話したことがない人がいたとする。でもここで勇気を出して「おはよう」とあいさつするだけで友達になれることも少なくなはずだ。これと同じ様に誰にでもあいさつをすれば、地域全体が明るくなっていくと思う。

次に私が良いと思うまちづくりは、地域の身近な行事に積極的に参加す

ることだ。参加したことが無い行事でも一度参加してみると、楽しくて、地域の方とも交流ができたりする。私も親に連れられて参加したイベントで、新しい友達ができたり、今まで知らなかった遊びを知ることができたりした。顔しか知らない地域のお年寄りや話したり、初めて会ったばかりの子と一緒に遊んだりできる。普段は体験できない楽しさや驚きを味わえる。

私の近くでまちづくりの活動をしている大人もたくさんいる。私の住んでいる地域には「青年部」というまちづくりのための集まりがある。青年部は、地域の小さな夏祭りなどにたくさん出店を出して盛り上げたり、小学校でオリジナルの絵本を作って小学生に読み聞かせをしたりと、まちづくりのための活動をしている。活動と共に地域が少しずつ変わっていくということがよく分かる。

私が知らないまちづくりはきっとまだまだたくさんある。私はこれからも「まちづくり」について関心を深めていきたい。そして、少しでもまちづくりに貢献するような活動ができるようになりたいと思う。

## 【中学1年生の部】

### 三次市のまちづくり

広島県立三次中学校

1年 白塚 未来さん

みなさんが住んでいるところは、よりよいまちにするために何をしていますか。

私が住んでいる三次市は、市民みんなで協力してまちづくりをしています。そのために三原則をつくっています。

まず、「自分たちの地域のことば、自分たちで考え、つくっていく」ということを基本としてみんなで力を合わせてまちづくりを行う協働を原則としています。例えば、大人の方が「元気な子どもの声を聞きたい」と思ったら声かけ運動をすることで自分で考えて、たくさんの人に協力を求めてみんなで実施をします。この原則では、まちづくりの主役である市民の人が関わり、市民と市議会および市がそれぞれの役割を果たし、

協力していくことが大切です。

次に、市民がそれぞれの立場から平等にまちづくりに参加する「市民参加のまちづくり」を原則としています。青少年や子どもたちも年齢に応じてまちづくりに参加し、意見を申し合ひ、その意見は市の未来に大切なものです。市政への参加などの方法として、市民アンケートをとったり小学校や中学校といった学校で子どもにお便りとして会議がいつ・どこであるのかなどを公開する方法があります。三次市はこの方法をきろんとやり続けています。だからよいまちになってきています。

最後に、まちづくりに参加するためには詳細な情報が必要のため、「情報の共有と公開」を原則としています。その方法として、市ホームページや市広報紙等を使う方法があります。市ホームページであればスマホなどですぐ見ることが出来ます。ですが、共有・公開を行うと同時に個人の権利と利益を守るため、個人情報保護の配慮も必要です。

このように、市民一人一人が動いてよりよいまちをつくるべく、そんな三次市を私は誇りに思っています。